

2019年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	グローバルリーダー育成教育活動 Global Café : 持続可能な開発目標 (SDGs) #4 質の高い教育をみんなに
実施組織 (または対象のカリキュラム)	工学部
※連携する他学部・機関がある場合は記入	エチオピアメケレ大学・ウェジラード高校
実施責任者(所属)	藤田 あき美 (工学部 工学基礎部門)
取組の目標	グローバル問題を議論し、議論結果を行動に移す過程で、グローバルリーダーシップスキルと多文化理解に基づく柔軟なコミュニケーション能力の育成。 解決を目指した現実グローバル問題は「エチオピアウェジラード地区では多くの女子が学校に行けない: <i>Let Girls Learn in Wejerat, Ethiopia</i> 」。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (簡条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>1) Global Café の実施：平成 31 年度前期 10 週、後期月 2 回、各 60 分、毎週金曜日昼休み</p> <p>a) 各国の「教育の質」に重点を当て、初等から高等教育の概要と特徴、ユニークな取り組み(ICT 活用含め)、諸問題を発表 (10 分)、質疑応答(5 分)。 具体的には、留学生も含む Global Café コアメンバーが発表 (モンゴル→メキシコ→オランダ→ベトナム→日本→中国→パレスチナ→エチオピア→フランス→マレーシア)。発表後小グループ議論。</p> <p>b) 残りの週は、エチオピア農村部の学校に行けない女子のために ICT をどう活用できるか、議論、具体策を考えた。</p> <p>c) 9/3 エチオピアメケレ大学古崎陽子先生講演</p> <p>d) 9/29 工学部 70 周年記念式典で「工学部の女子数を増やそう！リケジョ発見」計画提案、3 位受賞</p> <p>e) 10/27-11/5 アメリカ Penn State & NYC グローバルリーダー育成研修に参加</p> <p>f) 3 月に予定されていたエチオピア大使館での進捗報告・交流中止 (コロナ)</p> <p>2) Let Girls Learn プロジェクト活動</p> <p>a) 2-3 月:募金活動 (長野駅善光寺前+キャンプファイヤーインターネットサイト)</p> <p>b) 3/14:長野ロータリークラブ講演：エチオピア女子学生の入学後 2 年間の生活費をサポートする奨学金を得る。</p> <p>c) 7/2-7 エチオピア女子学生信州大学工学部訪問・受験 (残念ながら再試験となった)</p> <p>d) 9-3 月 PHP 言語によるプログラミング課題実施 (Kawamoto 准教授)</p> <p>3) 地域発信・アウトリーチ</p> <p>a) 6 月：信州大学 70 周年記念式典のイベントブースにおいて「<i>Let Girls Learn in Wejerat, Ethiopia</i>」についてのステージ企画を実施。</p> <p>b) 2/9: 長野東口フェスティバルで Let Girls Learn プロジェクト発信 (劇)</p> <p>c) 4/14 Let Girls Learn Party(エチオピア人留学生会とエチオピアアートクラブ)</p> <p>d) 6/24, 8/2, 1/24 長野南高校でエチオピア文化・国際交流 (高校生が学園祭で募金活動)</p> <p>e) 毎月 11 日、性暴力に対する認識を高めるためのフラワーデモに参加</p> <p>f) 3 月に予定されていたウーマンズマーチ参加中止 (コロナ)</p> <p>4) 学会発表・交流</p> <p>a) 3/1-3: 10th Women's Leadership and Empowerment Conference(タイ・バンコク)において Let Girls Learn Project 実践報告 (論文発表)</p> <p>b) 8/27-31 アフリカ開発会議(TICAD7)出席、展示ブース (エチオピア大使館・アフリカ日本語教育会議支援委員会)</p> <p>c) 10/6 第 3 回 HeForShe すべての人が輝く社会を目指し、に参加・交流 (国連大学)</p> <p>d) 10/19 婦人問題談話会出席・交流 (立教大学)</p> <p>e) 12/7-8 グローバル人材育成教育学会第 7 回全国大会でグローバルリーダー</p>

	<p>ーを目指した Global Café の取り組みと成果を口頭発表</p> <p>5) ICT を利用した教育</p> <p>a) 毎週火土曜日、エチオピアメケレ大学の女子工学部学生から成る「<i>Let Girls Learn</i>」クラブと skype で日本語会話のレッスン。</p> <p>b) エチオピアウェジラード高校の ICT クラブと Global Café 実施を実施予定であったが、設備等の問題から来年度に延期。エチオピア人留学生アシヤさんが 4 月帰国中に設置、実施。</p> <p>c) 3 月に予定されていたパキスタン、アラブ首長国連邦 IEEE Women in Engineering とのビデオカンファレンス中止（コロナ）</p>	
<p>2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望</p> <p>(達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)</p>	<p>b. おおよそ達成できた</p>	<p>(評価理由)</p> <p>A)コミュニケーションスキル、B)異文化理解力、C)リーダーシップスキル、D) ジェンダー意識の 4 点に関するアンケートによる自己評価の結果から、すべての日本人学生は Global Café の活動を通して異文化に対する恐怖や偏見がなくなり、自身の積極性・発信力が向上したのみならず、自国の諸問題にも興味を持つようになった報告する。その要因として留学生の存在さらに留学生と国際チームを組み共通のゴールに向けて活動をしていること（基本は英語）が大きく影響していることがわかった。また、日本人学生も留学生も、リーダーシップに対する理解が深まり、一人一人がリーダーとして動くことができるようになってきた。さらには、他国との比較議論と <i>Let Girls Learn</i> の活動を通してジェンダー意識がさらに高まったと感じる。自分の中の差別観からごく周りにあるジェンダー問題に気づくようになり、様々な格差や不平等問題とジェンダーは密接に関連があると議論が展開していった（来年度の課題 SDGs#10「人や国の不平等をなくそう」につながる）。</p> <p>(今後の展望)</p> <p>SDG#10「人や国の不平等をなくそう」に視点を変え、各国の経済格差及びジェンダー・教育問題との関連、解決に向けてのユニークな取り組み(特に ICT 活用)を議論し、貧困農村部におけるジェンダー問題、「<i>Let Girls Learn in Wejerat, Ethiopia</i>」に対する ICT を使用したさらなる解決法を模索する。また、長野県立大学と連携を取り、地域でのアウトリーチを積極的に行う予定である。Global Café を工学部英語教育と国際交流室のグローバルエンジニア育成活動として位置付け、理系人材グローバル・コンピテンシー項目（芝浦工業大学）を使用した事前事後調査を行い、学修成果を定量的に測定する予定。残念ながらウェジラード高校 ICT クラブとジョイント Global Café は未実施。エチオピア人留学生アシヤさんが 2020 年 4 月帰国中に設置を確認し、実施を予定している。また、パキスタンやアラブ首長国連邦の IEEE Women in Engineering を始め、他国の学生とのビデオカンファレンスを積極的に行っていく予定（そのための TV 会議システム関連機器を購入）。</p>